

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2011

課題番号：19520586

研究課題名（和文） 尾道・西國寺における修学・付法活動の調査研究
—中・近世の聖教・典籍を中心として—研究課題名（英文） The investigation research of the learning activities of the Buddhism
and the initiation activities of the doctrine in Saikokuji-temple of
Onomichi City—Around The Syougyou and book of the Buddhism in the medieval times
and modern times —

研究代表者

濱田 宣 (HAMADA AKIRA)

徳島文理大学・文学部・教授

研究者番号：20299332

研究代表者の専門分野：仏教美術史

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：近世史、仏教史学、歴史学、寺院史、仏教、仏教美術、地形分析

1. 研究計画の概要

広島県尾道市に所在する真言宗醍醐派西國寺は、すでに平安時代中期に存在の知られる古刹であるが、治暦2年（1066）、永和年間（1375～9）の2度の大きな火災により損害を受けたため、主としてそれ以降に集積された貴重な資料が数多く伝来している。その内容は、仏像・仏画、典籍、聖教類、古文書、世俗画、工芸品など多岐にわたり、さらに境内には数々の堂塔や石造物などもある。資料点数は約2万点で、そのほとんどが初見資料である。

本研究は、所蔵文化財全般の内容を明らかにすることは当然のこととして、密教学はもちろん国語学・国文学、日本史学等の諸学において注目される聖教や典籍類の内容を明らかにし、西國寺における修学・付法活動のみならず、広島県はもとより瀬戸内地域の歴史・文化の解明にも繋げていくものである。

2. 研究の進捗状況

2010年3月までに、聖教：8,570点、典籍5,132点、近世・近代資料181点、仏像53点、仏教絵画219点、合計14,155点を調査により確認し、そのうち5,660点を電子データ化、4,420点のデータを調査研究報告書として出版し公表している。なお、電子データ化及びデータを調査研究報告書としてまとめる際には、再度原資料とデータの照合を繰り返して慎重を期している。それに要する時間も相当必

要になってくる。また、未調査の聖教・典籍等は約5,500点あり、あと数年かけて調査を積み重ねていかなければならない。

(1) 本研究期間以前の科研費事業としての実績内容

① 2001～2003年度

- ・調査資料総点数7,997点
- ・資料の電子データ化540点
- ・調査研究報告書掲載567点

② 2004～2006年度

- ・調査資料総点数3,070点
- ・資料の電子データ化4,744点
- ・資料整理（※）5,454点
- ・調査研究報告書掲載1,653点

※資料整理とは、原資料に資料番号を記したラベルを貼付し、資料管理の円滑化を図るものである。

(2) 本研究期間における実績内容

- ・調査資料総点数3,088点
- ・資料の電子データ化434点
- ・資料整理3,671点
- ・調査研究報告書掲載2,207点

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

年間の現地調査日数（人員）により年度毎に違いはあるが、年間約1,000点の資料を調査し、資料の電子データ化、資料整理、調査研究報告書の刊行（現在までに7冊）も、調査研究を開始する10年前に立てた計画

通り概ね進展している。

4. 今後の研究の推進方策

現時点で未調査の聖教・典籍等約5,500点の調書作成、約1万点の資料の電子データ化を進めながら、調査研究報告書を刊行し資料の目録化、さらに資料分析を行う。ただし、調査対象となっている資料のほとんどが初見資料であるため、資料の全貌を明らかにした上で資料分析がなされなければ、不十分な成果報告となることは明白である。従って、資料の電子データ化及び目録化を優先させることが先決事項である。その完了までには、データ量からしてあと10年弱必要であると考えている。

調査からデータ整理を経て研究成果報告までの手順が確立し、十分な成果を上げており、今後、残された未調査資料及び未整理資料の調査研究を鋭意継続させる必要がある。言うまでもなく、ここまで続けてきた本調査研究を頓挫させるわけにはいかない。

5. 代表的な研究成果

〔図書〕（計3件）

（1）本研究期間以前の科研費事業としてのもの

- ①徳島文理大学、『西國寺調査研究報告書』第1号、2004、135頁
- ②徳島文理大学、『西國寺調査研究報告書』第2号、2006、96頁
- ③徳島文理大学、『西國寺調査研究報告書』第3号、2007、92頁
- ④徳島文理大学、『西國寺調査研究報告書』第4号、2007、223頁

（2）本研究期間におけるもの

- ①徳島文理大学、『西國寺調査研究報告書』第5号、2008、169頁
- ②徳島文理大学、『西國寺調査研究報告書』第6号、2009、166頁
- ③徳島文理大学、『西國寺調査研究報告書』第7号、2010、202頁